



 飯田市

歴研ニュース

News Letter
No. 50
 The Iida City Institute
 of Historical Research

飯田市歴史研究所
 〒395-0002
 長野県飯田市上郷飯沼3145
 TEL 0265-53-4670
 FAX 0265-21-1173
 E-mail iih@city.iida.nagano.jp



旧飯田町・旧上飯田町(村)の史料情報をお寄せください!



援護館創立記念絵ハガキから、
 作業場の中の様子です。
 昭和16(1941)年頃始まった
 生活支援事業とみられ、寄宿
 所や託児所もありました。



歴史研究所では現在、旧飯田町・旧
 上飯田町(村)の歴史に関する本の刊行作
 業を進めています。市役所に保管され
 ている古い公文書や、中央図書館や美
 術博物館で所蔵されている古文書のほか、
 市民の皆さんがお持ちの古文書・古写
 真についても情報をお寄せ頂き、調査
 を進めています。飯田町・上飯田町(村)
 の商工業や生活に関する史料をはじめ
 として、まだまだ情報を募集中ですの
 で墨書きの文書のほか、明治・大正・
 昭和期の文書や日記、写真といった史
 料をお持ちでしたら、ぜひ歴史研究所
 までご連絡ください。



昭和50(1975)年8月、中央自動車道が開通し
 た日の中央通りを写したものです。銀座通り
 には開通を祝う横断幕が掲げられています。



南満州鉄道会社へ就職ののち軍に召集された方
 が、家族との間で取り交わした手紙やハガキで
 す。現地の様子を知らせ、家族を思いやる心情
 をつづった全260点の貴重な史料です。

龍共印刷株式会社 ryukyo

〒395-0004 長野県飯田市上郷黒田121
 TEL 0265-22-5353 FAX 0265-52-1971

カラー美術印刷 チラシ・パンフレット
 新聞・文集・出版 コンピュータ用伝票

「書を捨てよ、町へ出よう」

桑原 明 (元歴史研究所副所長)



この度、歴史研究所のスタッフを退きました。在職中は、当機関の事業を通して大変お世話様になりました。多くの皆様方からいただきました御支援、御協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

実験パイロット事業の性格も持ってスタートしたこの事業は、おそらく今後もその性格を変えることなく、永続的に自己変革を遂げながら展開されていくものと考えています。

「不易流行」を芭蕉は説きました。変化を求めて流行する俳諧であるけれども、永遠性(普遍性)を備えたものでないといけない。すべての芸術に通底する理念でしょう。しかし、これが本当に難しい。

どうかこれからも、歴史研究所の事業にかかわる皆さんには、自己の感性や想像力を無限に解放して、生のリアリティーに根ざした認識や創造を獲得していただきたいと願っています。「イデオロギー」や「経済(成長)」の後の、私たちの新しい「物語」を紡ぐためにも。

飯田・下伊那史料叢書2 建造物編1 刊行紹介 『本棟造と養蚕建築』



飯田・下伊那地域の特徴的な民家である本棟造と養蚕建築に関して、間取りや構造の変遷、養蚕業の影響等を分かりやすく図表を用いて解説し、巻末に130件分の調査内容を掲載しています。

A4判/3500円(税込)
3月末刊行予定

詳細は次号にてお知らせします。

記憶を言葉にそして文字に 語りつぐ満蒙開拓

私たちの図書館では、毎年8月に戦争を取り上げたひとつのコーナーを設けています。“今年には戦後〇〇年です…中略…みなさんで考えてみましょう”と。

日本の歴史上传えなくてはならない、忘れてはいけない、知って考えていく場を、との想いからです。いろいろな分野の書籍が並ぶ中で『下伊那のなかの満洲』は、「まあー えらいことだったねえ」「忘れちゃいけない」「よく聞いて記録にしたもんだなえ」…と反響は大きく、戦争体験した皆さんからは「俺は〇〇へ行って特攻を見送った」「そんなもん飲まず食わずでよく動けたもんだ」などなど。聞き始めると体験談義は尽きることはない時もあります。

『下伊那のなかの満洲』は読み手をタイムトラベルさせ、体験のない方にもわかりやすく気持ちをぐっとつかんでいます。それは語り手の言葉を正確に聴き取って書き上げた史実だからこそではないでしょうか？

沖縄の図書館から相互貸借依頼を受けたこともあり、改めて貴重な資料集ということを実感いたしました。

“語り”を“文字”へ。という非常に地道で労苦を伴うことですが、ほかの文献資料にはない唯一の真実史料です。郷土を愛する皆様の熱意がこのような貴重な形になられたと感激しております。これからも大いに活用させていただきますとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申しあげ、次号9集を楽しみにお待ちしております。



伊那市立高遠町図書館 北山 ひろみ

「貴重な史料に感謝です」

リレーエッセイ

<民権国家>への連帯

飯田アカデミア第60講座講師

キム チョソル

金 早雪 (信州大学経済学部教授)

飯田アカデミアでの2日間を除いて、2010年は憂鬱だった。100年前の大きな出来事を顧みることが悪いとは言わない。しかし、すでに1905年にその路線は既定方針となっていたはずである。ことさら1910年だけを取り出すことに漠たる危険を感じた。案の定かどうか、38度線以北の政権との和解交渉が進むことはついぞなく、日露戦争を防衛戦と捉える明治群像賛美ドラマが大成功をおさめ、北朝鮮の世襲後継公表に前後して、朝鮮戦争が休戦状態に過ぎないことがクローズアップされる事態まで発生した。

韓国では、故盧武鉉大統領時代に国防白書で北朝鮮を「主敵」とする記述が、激論の末に削除されたのだが、今回、李明博政権はいともたやすく復活させた。かつて韓国人留学生が、高校までは北は統一する相手と学ぶのに、徴兵されて軍隊に入ると北の軍民こそを対象とする殺戮訓練は当初ショックだったと言っていた。

韓国の市民団体「参与連帯」の中心メンバーで社会学者・金東椿の『朝鮮戦争の社会史：非難・占領・虐殺』（平凡社、2008年、原書2000年）を遅まきながら手にした。米軍による民間人虐殺・老斤里事件が1999年に初めて公にされて、韓国の人々は朝鮮戦争の書き直しの必要を実感したという。曰く、「朝鮮戦争はベトナム戦争、湾岸戦争、イラク戦争がそうであったように、実際には『米国の戦争』であると同時に世界戦争であり、この点で『朝鮮戦争』という名称もいまだ暫定的であるほかない。」

そう言えばイラク「侵攻」（当時の表現）直後、「誤爆で村民多数死亡」という小ぶりの新聞記事があった。誤爆？ 狙い撃ちでないのがいけなかったわけ？ 死亡？

外国軍隊・権力による殺人でしょうか。

一昨年、北朝鮮で「娘100ウオンで売ります」という実話に、韓国の人々は涙したという。38度線をはさむ飢餓と飽食の明暗を平和につなげる道はないのか。戦争と飢餓からの解放は、民主主義だけでは足りないらしい。ひとの命を何にもまして大切にする<民権国家>は、やはり見果てぬ夢でしょうか。



歴研ゼミ 2月・3月の予定

実践的に歴史研究の方法を学ぶ講座です。各ゼミでは随時受講生を受け入れています。

- 時間 午後7時～8時40分
(各ゼミ共通)
- 場所 歴史研究所2階研修室
(各ゼミ共通)

思想史ゼミ

- 開催日 2月2日・16日
3月2日・16日
(第1・第3水曜日)
- 担当 池田勇太 (研究員)

近世史ゼミ

- 開催日 2月15日
3月1日・15日
(第1・第3火曜日)
- ※2月1日は都合のため休講です。
- 担当 竹ノ内雅人 (研究員)

近現代史ゼミ

- 開催日 2月10日・24日
3月10日・24日
(第2・第4木曜日)
- 担当 田中雅孝 (調査研究員)

地域史講座

飯田・上飯田の歴史

2011年3月24日(木)

午後7時～

「江戸時代の丸山(仮)」

- ・講師 多和田雅保(調査研究員)
- ・会場 丸山公民館

定例研究会

研究活動促進のため、定期的に公開研究会を開催しています。

2月19日(土)

近現代下伊那農村社会の特質

講師：坂口 正彦
(調査研究補助員)

会場：歴史研究所2階研修室
時間：午後2時～4時

歴史研究助成報告会を開催します

歴史研究所では、個人や団体の歴史研究活動に対して助成を行っています。
今年度この助成を申請した皆さんが研究報告を行います。

日時：3月5日（土）午後2時～ 会場：歴史研究所2階研修室

報告課題

- ☆長野原の歴史検証から『大井川、道路、屋号、古墳、神社、等の歴史の検証と調査研究』
- ☆地域における自発的な医療・衛生史と病院・診療所の役割－長野県松尾村と下伊那中央病院を事例に－

歴研日誌

12月

- 1日 歴研ニュース49号発行
- 1日 思想史ゼミ「小島信夫『おそれとはずかしさ(2)』」
- 3・8日 依田時子氏聞き取り〔松尾〕
- 4日 定例研究会「なぜ、羽生三七であるのか。また、なぜ、胡桃澤盛であるのか。」一橋橋進市民研究員
- 4・5日 シンポジウム「伝統都市論」出席
(竹ノ内研究員)〔東京大学〕
- 5日 中央大学佐藤ゼミ来所「満洲移民について」
一本島和人調査研究員・齊藤俊江客員研究員
- 7日 近世史ゼミ「苦勞する名主たち(手当願文書)」
- 9日 近現代史ゼミ「大正12年の南信新聞と胡桃澤日記」
- 10日 第2回平和資料整理プロジェクト会議出席
(池田研究員・本島調査研究員)〔教育委員会〕
- 13日 市議会総務文教委員会協議会
『飯田・上飯田の歴史』(仮題)刊行計画説明
- 13～15日 追手町小学校史料調査
- 14日 建築史ゼミ「看板」
- 17～19日 第11次旧南信濃村役場文書調査・整理
- 20日 飯田下伊那における学校史料と
地域社会に関する基盤的研究全体会議出席
(池田・竹ノ内研究員・本島調査研究員)
- 31日 桑原明副所長退任

■継続調査

部奈一朗氏所蔵文書、上松家所蔵文書、小林八十吉氏文書、
鎮西徹氏所蔵文書、阿智村伍和木下家文書、下清内路小栗家文書、
中原謹司氏史料、岡島旭氏所蔵文書、本多広文氏所蔵文書、
今村八束氏所蔵文書、八幡町犬塚家所蔵文書、松田初美氏文書、
佐々木久孝氏文書、松澤卓治氏所蔵文書、嶋岡和治氏所蔵文書、
上條信之氏所蔵文書、岩戸久義氏所蔵文書、田中伍市氏関係文書、
原常吉氏所蔵文書

1月

- 1日 北原康彦副所長就任
- 8日 『飯田・上飯田の歴史』(仮題)
編集・執筆者 飯田・上飯田巡見
- 9日 『飯田・上飯田の歴史』(仮題)
第1回編集委員会・執筆者会議〔上郷公民館〕
- 11日 建築史ゼミ「蚕室」
- 13日 近現代史ゼミ
「大正12年の南信新聞と胡桃澤日記」
- 14日 財団法人日本都市センター主催
「第1回都市調査研究グランプリ」
『飯田市域の本棟造と養蚕建築の悉皆的調査研究』
(金澤雄記研究員)グランプリ受賞
- 15日 地域史講座「飯田・上飯田の歴史
幕末の飯田藩主一堀親義の隠居について」
一池田勇太研究員〔羽場公民館〕
- 15日 「胡桃澤盛日記」刊行会会議
- 17～19日 追手町小学校史料調査
- 18日 第3回平和資料整理プロジェクト会議出席
(池田研究員・本島調査研究員)〔教育委員会〕
- 18日 近世史ゼミ「堀端水道普請の争論」
- 19日 合併特例交付金事業
書庫整備工事の現場説明〔南信濃〕
- 19日 思想史ゼミ
「日高六郎編『戦後思想の出発』(1)」
定例研究会「文書目録作成を通して」
一竹ノ内雅人研究員・長沼雅子調査協力員
- 22日 鼎歴史を学ぶ会学習会講師
「『鼎時報』(戦前・戦中)から読み取れること」
一本島和人調査研究員〔鼎公民館〕
- 25日 三島市 市議員所内視察
- 26日～ 飯田ゆめみらいICTカレッジ職業訓練実習
- 27日 近現代史ゼミ
「文献講読『昭和の記憶を掘り起こす』」

催事スケジュール

日	月	火	水	木	金	土				
2月		2/1	NL50発行	2	思想史ゼミ	3	4	5	アカデミア 61th 1日目	
6	アカデミア 61th 2日目	7	8	9	10	定例研究会 近現代史ゼミ	11	12		
13	14	15	近世史ゼミ	16	思想史ゼミ	17	18	19	定例研究会	
20	21	22		23		24	近現代史ゼミ	25	26	
27	28									
3月		3/1	近世史ゼミ	2	思想史ゼミ	3	4	東大調査 来訪～7日	5	研究助成 報告会
6	7	8		9		10	近現代史ゼミ	11	12	
13	14	15	近世史ゼミ	16	思想史ゼミ	17	18	19		
20	21	22		23		24	地域史講座 近現代史ゼミ	25	座光寺小 調査23日～	
27	28	29	30	31						

開所日 休所日

開所時間 午前9時～午後5時
休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日